ここが聞きたい 一般質問

一般質問とは、議員が自身の考えや市民の皆さんの声をもとに市の行財政全般について方針や執行状況などを質問することです。

今後の生理の貧困に対する支援は

社会福祉協議会の窓口で、食料品の支援と併せて生理用品の無料配布をしている

辻　史子
公明党田原市議団

動画へGO

女性、子ども・若者の社会的孤立防止について

問　声を上げにくい子どもや若者をサポートする体制と支援の状況は。

答　「子ども家庭総合支援拠点」「地域連携推進員」「スクールカウンセラー」「スクールソーシャルワーカー」「教育サポートセンター」「子ども・若者総合相談窓口」「訪問型アウトリーチ家庭教育支援チーム相談員」等、世代に応じた相談窓口や支援機関を設置し、乳児期から青年期まで切れ目のない支援を行っている。

問　防災備蓄品の生理用品を無償配布する取り組みを実施されたが、生理の困窮は一過性のものではなく、支援の継続が必要と考える。今後の生理の貧困に対する支援は。

答　これまで社会福祉協議会と親子交流館の窓口で生理用品の無償配布を実施してきたが、6月から社会福祉協議会の窓口で食料品の支援と併せて配布を始めている。

問　ＳＤＧｓや男女共同参画の観点から、女性活躍や子育てに対する支援の考え方は。

答　「誰一人取り残さない」社会実現のため、ＳＤＧｓの目標と総合計画とを関連づけ、施策の推進を図っている。コロナ禍で顕在化した女性に関する課題等については、「田原市男女共同参画推進懇話会」や「庁内ワーキング」などで支援の方向性を整理する。また、国・県の取り組みと連動し、「女性が輝ける環境づくり」の実現に向け情報共有や啓発を図っていく。子育て支援は、田原市男女共同参画推進プランⅡにおいて、誰もが安心して子育てができる環境整備と男性の子育てへの参画を目標としている。